

## 痛みや機能障害の原因を運動連鎖をベースに考え、 評価・治療の引き出しを増やすことができます

この度、Northinspire では7月に新潟市内で「運動連鎖障害に対する理学療法～下肢編～」というタイトルで研修会を開催致します。セラピストにとって下肢運動器疾患や下肢の痛み・機能障害は臨床で遭遇する機会が多いですが、様々な原因・問題点があり、評価・治療をするうえで症状部位にのみ着目しても変化しない事も多く、臨床で苦慮することが多いです。下肢疾患を独立した各関節の問題として捉えるのではなく、下肢全体の問題点を考えるうえで運動連鎖の影響を考慮する事で問題点が明確になりやすく治療効果も高まります。本研修会を受講することで、下肢疾患や下肢機能障害に対する運動連鎖を用いた評価・治療を実技を中心に学ぶことが出来ます。

\* 本研修会は実技練習が中心です

日程：7月28日(土) 受付開始 14:40 講習会 15:00～19:30(予定)

会場：こん整形外科クリニック(新潟県新潟市中央区紫竹山2丁目4-30)

参加費：5000円(当日徴収) 定員：30名

講師：堀 智貴先生(堀整形外科 部長) 認定理学療法士(徒手療法)

アシスタント：谷口 英一先生(Northinspire 代表)

\* 本研修会参加者は翌日開催の研修会(不良姿勢研修会)が1000円割引になります

### 【このような悩みの方におススメです】

- ・ 運動連鎖はなんとなく分かるが臨床応用ができない
- ・ 動作分析から問題点が見つけられない
- ・ 短時間、1単位でも効果的な評価・治療をしたい
- ・ CKCで効果的な運動療法が思いつかない
- ・ 評価・治療の引き出しが少なく、日々の臨床で変化を出せない

### 【当日の内容(予定)】

- ・ 運動連鎖の基礎(上行性運動連鎖と下行性運動連鎖について)
- ・ 運動連鎖障害の影響を受けやすい下肢運動器疾患の特徴
- ・ 運動連鎖を用いた動作分析と検査方法
- ・ 徒手療法(モビライゼーション、リリース等)を用いた運動連鎖障害に対する治療
- ・ 運動療法を用いた運動連鎖障害に対する治療
- ・ テーピングを用いた運動連鎖障害に対する治療(距骨下関節など)

- ・疾患別や代表的な下肢機能障害に対する運動連鎖を用いたアプローチ(ドウシャン又徴候、トレンデレンブルグ徴候、Knee in toe out、ラテラルスラスト等)
  - ・即時効果を出すコツと効果を持続させるコツ
- \* 進行状況に応じて症例供覧

参加資格：理学療法士 or 作業療法士

お申し込みの際し Northinspire ホームページ、「セミナー規約」をご確認ください  
メールの件名欄に「新潟 運動連鎖」と記載してください

申し込みの際に教えていただいた E-mail アドレスへ返信いたします(yahoo メール  
の迷惑メール設定等の確認をお願いいたします)

各施設単位(職場共有アドレスからのお申し込みも不可)や連名での申し込みではなく、必ず個人のメールアドレス(可能な限り携帯アドレス以外)でお申し込みください

理学療法士協会等の単位認定は行いません

- ① 氏名(フリガナも必須)、②勤務先、③経験年数、④PT or OT ⑤E-mail アドレス(お申し込み時に使用したアドレス)、⑥携帯電話番号、を記載し northinspireseminar@yahoo.co.jpへお申し込みください

Northinspire(<https://northinspire.jimdo.com/>新潟開催/)